

科目名	データベース				
授業形態	講義	学年	2		
開講時期	2022年度 前期	単位数	2		
担当教員	伊豆田 義人				
内容および計画	この授業では、データベースの仕組みを理解し、設計と構築のスキルを身に着けることができる。目的を達成するためには、講義内容を二部構成とする。前半では、データベースソフト「Access（アクセス）」の使い方を知りながらデータベースの全体像を把握する。後半では、実践的にデータベースの設計と構築について学ぶ。ここでは、データベース設計の土台となる「正規化」の手順を学習して、「鉛筆と紙で」ケーススタディ的にいくつかのシステムの設計を行った後、アクセスで実際にシステムを構築する。				
1	◇【ソフトの学習】の部1. ガイダンス。データベースの基礎知識。Access の紹介				
2	テーブルの作成				
3	リレーションシップの作成				
4	クエリの作成				
5	フォームとサブフォームの作成				
6	レポートとサブレポートの作成				
7	システムの統合・アプリケーション化				
8	◇【データベースの設計と構築】の部8. 「正規化」の基本と「正規形」の導出手順				
9	「正規化」を理解する。簡易「販売管理システム」の設計				
10	「販売管理システム」のリレーションシップとクエリ				
11	「販売管理システム」のフォームとレポート				
12	「正規化」への理解を深める。簡易「診察予約管理システム」の設計				
13	「診察予約管理システム」でアクセスのアクションクエリを確認する				
14	期末プロジェクト：「正規化」によるデータベースの設計、テーブルの作成				
15	期末プロジェクト（続）：リレーションシップとクエリの作成。※翌週（16週目）にはフォーム、レポートの作成とアプリケーション化（統合）をして、完成させる				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
適宜資料を配布する。データベースの設計については、下記の参考書を推奨する。Access の解説書は、特に指定しない。					
参考書	『リレーショナルデータベース入門—データモデル・SQL・管理システム』、増永良文（著）、サイエンス社、ISBN4781910246、2003 『リレーショナルデータベースの実践的基礎』、速水 治夫（著）、コロナ社、ISBN433902435X、2008 『データベースシステム』、北川 博之（著）、昭晃堂、ISBN4785620463、1996 『そこが知りたい!よくわかる実践データベース—基礎知識からインテグレーション業務に直結した応用知識まで』、弓場 秀樹・武田 喜美子、ISBN4798100471、2001				
成績評価					
	評価方法				割合(%)
出席					30
授業課題の提出					30
期末プロジェクト					40

学習到達目標	(1) データベースの仕組みを理解すること、(2) データベースシステムの設計・構築スキルを身に着けること。
先修条件	パソコンの基本操作ができること。
実務経験	
その他	